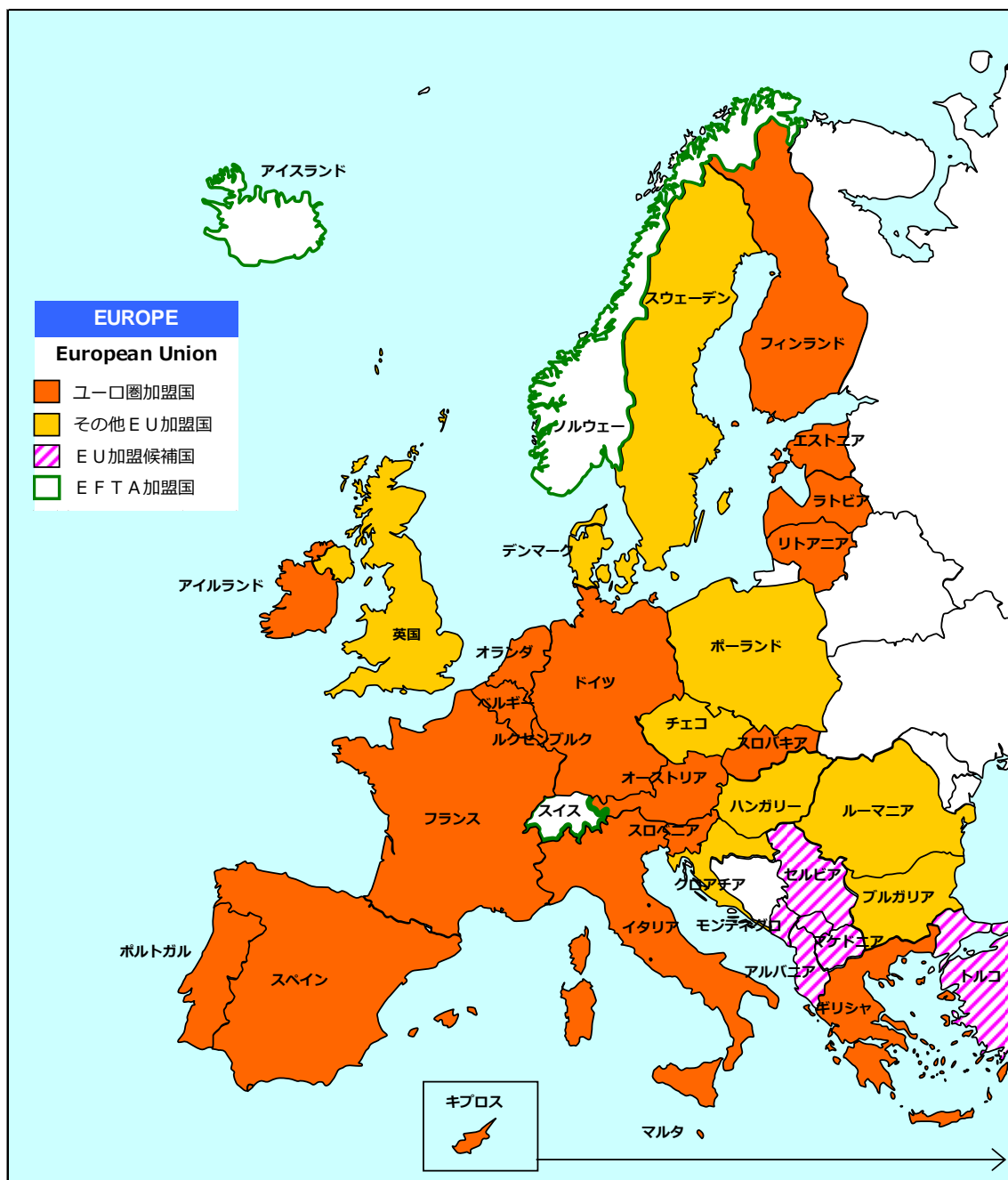


2016年9月21日 全13頁

欧州経済アップデート (2016.9)

経済調査部
主席研究員 山崎 加津子

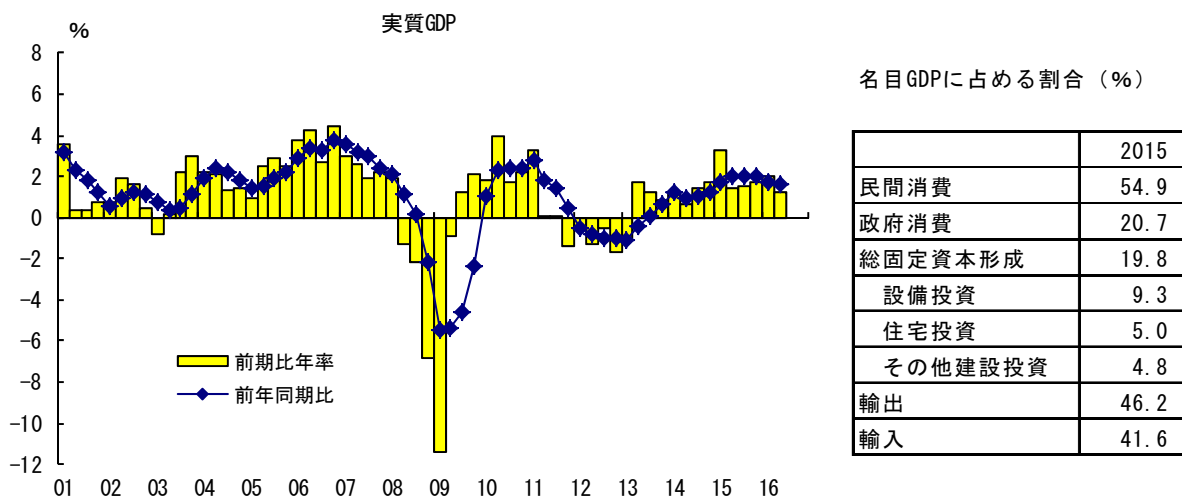


出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

図表作成：リサーチ業務部データバンク課

ユーロ圏 GDP

- 16年Q2の成長率は前期比+0.3%に減速したものの、13四半期連続のプラス成長
- 16年Q2の内需寄与度は前期比-0.06%ポイントと13四半期ぶりのマイナス寄与となった
- 一方、16年Q2の純輸出寄与度は前期比+0.36%ポイントと12年Q2以来の高水準



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	-0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.8	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3
個人消費	-0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.3	0.6	0.2
政府消費	0.1	0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.1	0.5	0.4	0.4	0.6	0.6	0.1
総固定資本形成	-2.0	1.1	1.0	0.3	0.3	-0.3	0.6	0.5	1.6	0.1	0.5	1.4	0.4	0.0
設備投資	-1.5	1.3	1.3	1.6	0.4	0.5	1.2	0.8	2.2	0.6	0.9	1.6	0.1	0.4
住宅投資	-2.3	1.0	0.5	-1.1	0.7	-1.2	0.3	0.1	0.9	0.2	0.5	1.0	0.5	0.3
その他建設投資	-2.7	0.7	0.8	-0.8	-0.1	-1.0	-0.2	0.2	1.1	-1.0	-0.1	1.6	0.8	-1.2
輸出	0.4	1.1	0.7	1.1	0.8	1.1	1.6	1.5	2.5	1.2	0.4	0.7	0.0	1.1
輸入	0.1	1.2	1.4	0.7	1.0	1.4	1.5	1.4	2.4	0.7	1.2	1.4	-0.1	0.4

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

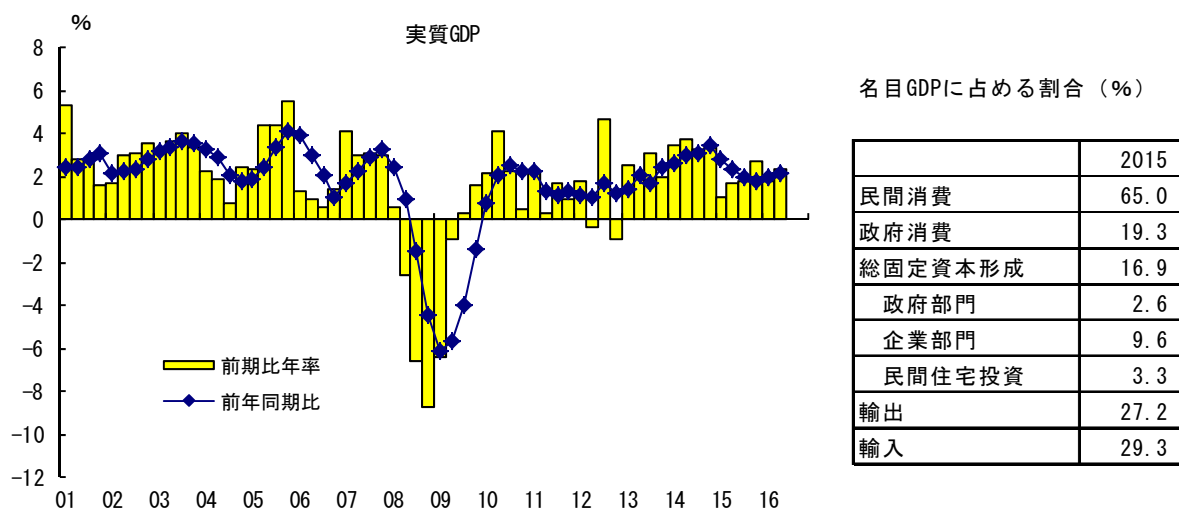
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	-0.27	0.42	0.31	0.20	0.28	0.15	0.36	0.43	0.82	0.35	0.37	0.44	0.51	0.30
個人消費	-0.14	0.13	0.11	0.12	-0.01	0.15	0.21	0.29	0.22	0.23	0.28	0.17	0.34	0.12
政府消費	0.02	0.00	0.06	0.05	-0.01	0.03	0.07	0.03	0.10	0.08	0.07	0.14	0.13	0.03
総固定資本形成	-0.40	0.21	0.19	0.06	0.07	-0.06	0.13	0.09	0.31	0.02	0.11	0.29	0.08	0.00
設備投資	-0.15	0.12	0.13	0.15	0.04	0.05	0.12	0.07	0.22	0.06	0.09	0.16	0.01	0.04
住宅投資	-0.12	0.05	0.02	-0.06	0.04	-0.06	0.02	0.01	0.04	0.01	0.02	0.05	0.02	0.02
その他建設投資	-0.13	0.03	0.04	-0.04	-0.01	-0.05	-0.01	0.01	0.05	-0.05	-0.01	0.07	0.04	-0.06
在庫変動	0.11	0.11	0.19	-0.21	0.29	0.08	-0.17	-0.06	0.03	-0.23	0.25	0.12	-0.12	-0.21
輸出	0.17	0.47	0.31	0.47	0.36	0.50	0.73	0.67	1.14	0.56	0.18	0.32	0.01	0.51
輸入	-0.03	-0.49	-0.53	-0.28	-0.41	-0.54	-0.61	-0.58	-0.98	-0.31	-0.52	-0.59	0.06	-0.15
純輸出	0.13	-0.01	-0.22	0.19	-0.05	-0.04	0.13	0.09	0.16	0.25	-0.34	-0.27	0.08	0.36

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 16年Q2の成長率は前期比+0.6%に加速し、プラス成長は14四半期連続に
- 牽引役は引き続き内需で、16年Q2の個人消費は前期比+0.9%に伸びが加速、総固定資本形成は同+1.4%と3四半期ぶりに拡大に転じた
- 輸入の伸びが輸出の伸びを上回ったため、16年Q2の純輸出寄与度はマイナス幅が拡大



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	0.6	0.5	0.8	0.5	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.4	0.4	0.7	0.4	0.6
個人消費	0.1	0.3	0.8	0.6	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.8	0.6	0.6	0.8	0.9
政府消費	0.3	-0.4	0.2	0.8	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	1.0	0.3	0.2	0.5	-0.2
総固定資本形成	-2.5	1.7	3.4	2.6	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.5	-1.0	-0.1	1.4
政府部門	-2.4	2.7	2.1	2.6	16.1	-20.5	9.1	-0.6	2.0	-2.0	-0.2	-1.8	-2.7	10.4
企業部門	-2.4	-0.1	3.5	1.8	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.1	0.5	1.6	-2.2	-0.6	0.5
民間住宅投資	0.7	6.4	2.4	2.8	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.6	4.9	-2.7	1.7	1.6	-1.5
輸出	0.1	4.8	-2.6	-1.3	2.6	-0.3	-1.3	4.0	2.1	-0.3	-0.2	3.2	-0.4	0.1
輸入	-0.5	4.7	-0.1	1.7	-0.1	-1.3	1.1	2.8	3.8	-2.1	1.3	2.5	0.1	1.0

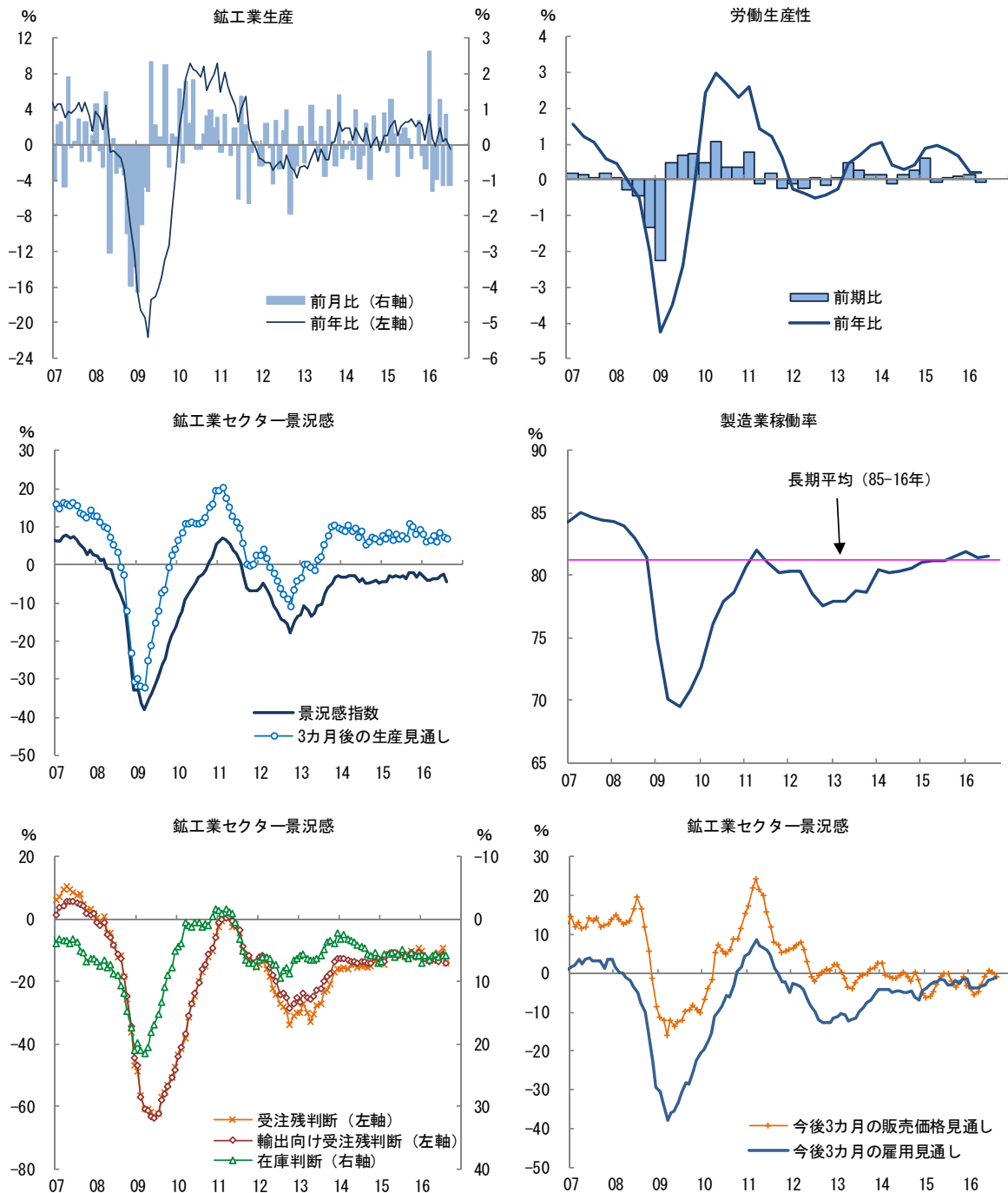
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	0.63	0.52	0.76	0.49	0.85	0.93	0.81	0.83	0.26	0.42	0.44	0.68	0.45	0.59
個人消費	0.04	0.18	0.50	0.42	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.52	0.51	0.42	0.37	0.50	0.57
政府消費	0.07	-0.08	0.04	0.15	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.09	0.20	0.06	0.04	0.09	-0.03
総固定資本形成	-0.40	0.27	0.55	0.43	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.25	0.21	0.09	-0.16	-0.01	0.24
政府部門	-0.06	0.07	0.05	0.07	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.05	-0.05	-0.01	-0.05	-0.07	0.25
企業部門	-0.23	-0.01	0.32	0.17	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.20	0.05	0.15	-0.22	-0.06	0.05
民間住宅投資	0.02	0.18	0.07	0.09	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.05	0.16	-0.09	0.06	0.05	-0.05
在庫変動	-0.34	0.54	0.19	0.24	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.12	-1.13	0.30	0.26	-0.23	0.12
輸出	0.02	1.42	-0.79	-0.39	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.63	-0.10	-0.05	0.94	-0.11	0.02
輸入	0.15	-1.45	0.03	-0.56	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.22	0.69	-0.41	-0.81	-0.04	-0.35
純輸出	0.17	-0.03	-0.76	-0.95	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.59	0.58	-0.46	0.13	-0.15	-0.33

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比-1.1%と反落し、前年比も-0.5%と4カ月ぶりのマイナス圏。ただし、7月に夏期休暇の影響で急落したドイツの自動車生産が8月には急反発している
- 8月の鉱工業セクター景況感は3カ月ぶりに前月比悪化。構成項目のうち受注残判断の悪化が目立つ
- 16年Q2の労働生産性は前期比-0.1%と4四半期ぶりに落ち込み、前年比も+0.2%と低迷

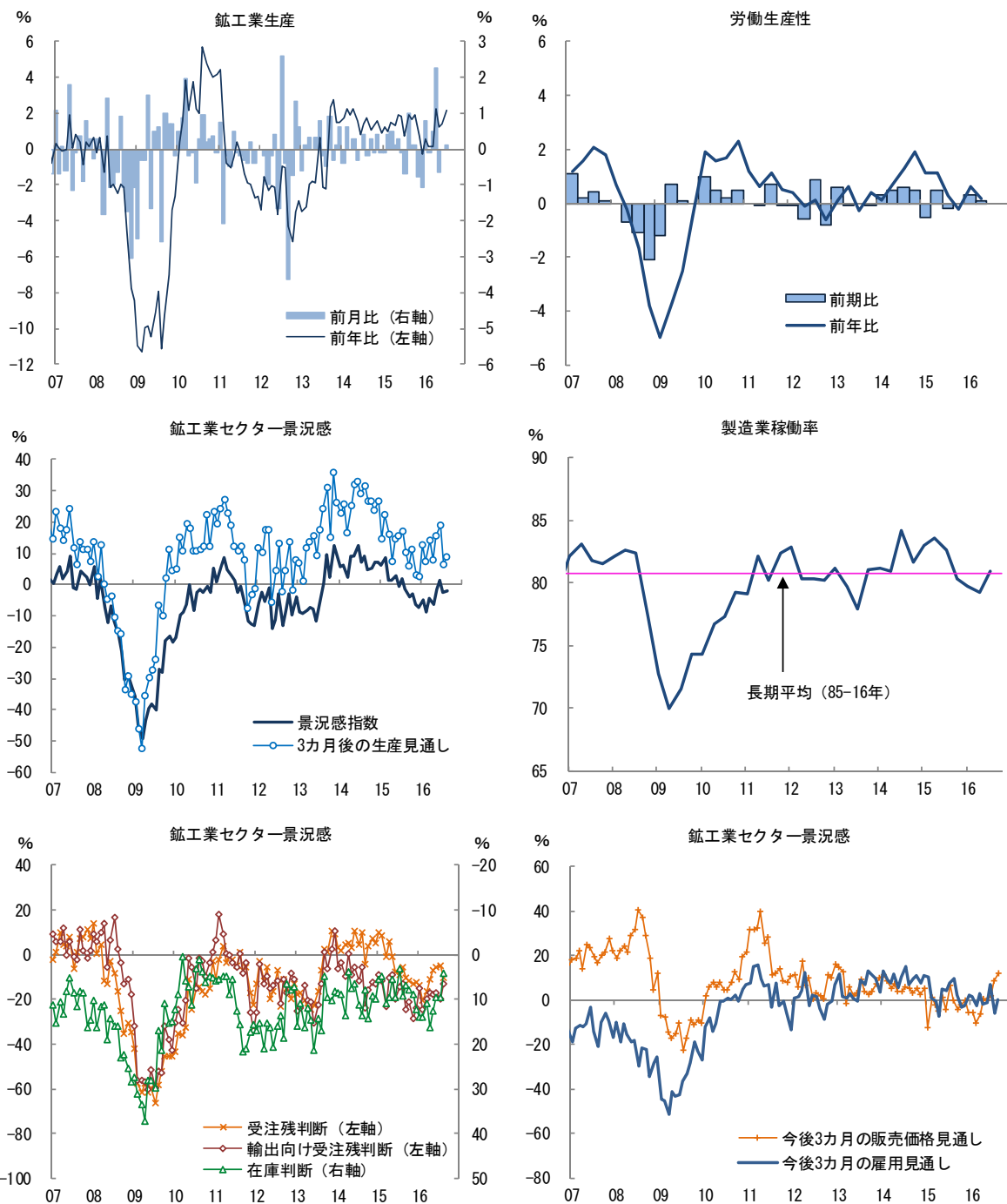


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比+0.1%、前年比+2.1%と堅調な伸びを維持
- 8月の鉱工業セクター景況感は前月比で持ち直し。構成項目のうち受注残判断は悪化したものの、在庫判断が大きく改善し、生産見通しも小幅に反発
- 鉱工業セクターの販売価格見通しはポンド安を背景にここ半年で大幅に上昇している

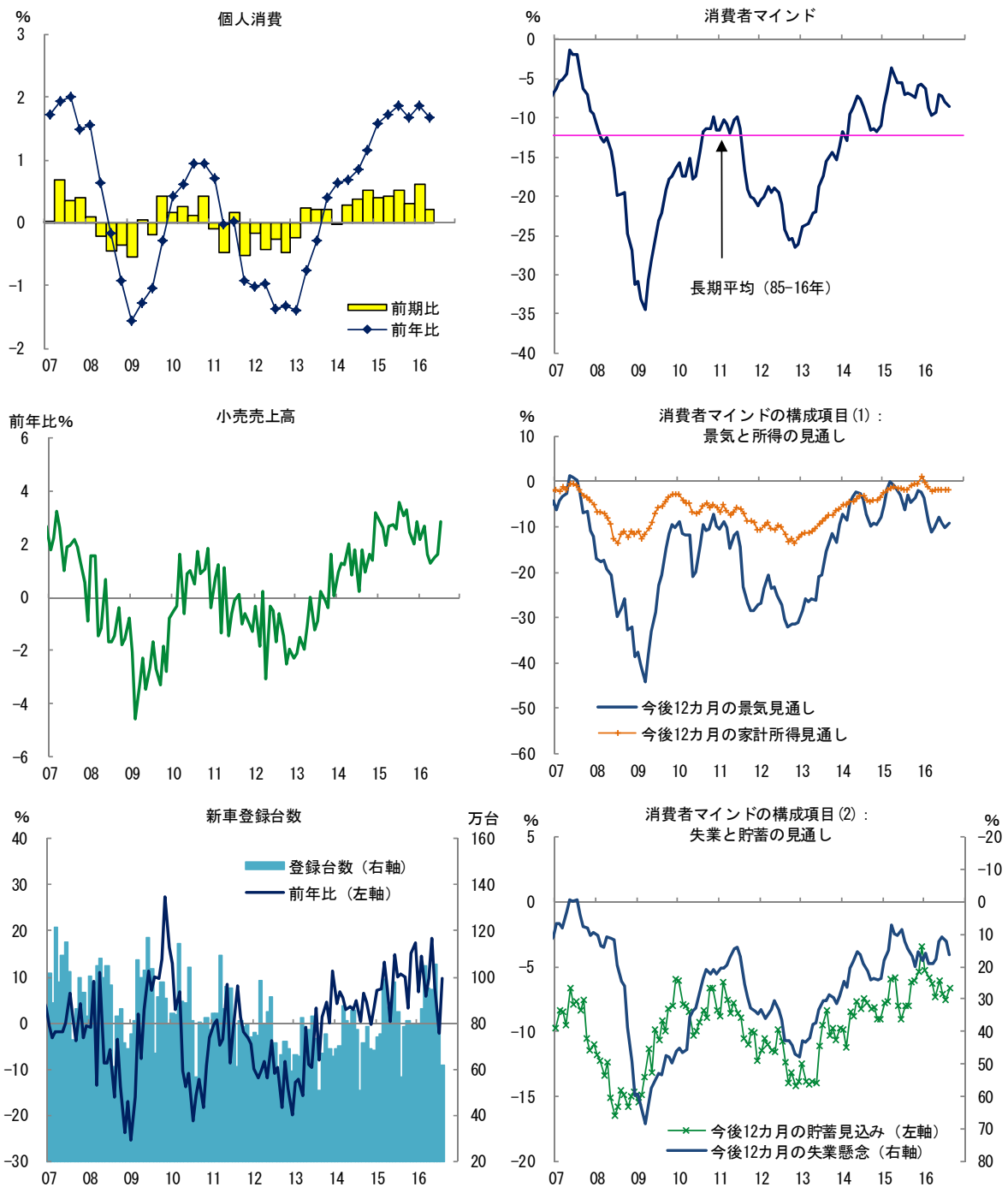


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 16年Q2の個人消費は前期比+0.2%と9四半期ぶりの低い伸びにとどまった
- ただし、7月の小売売上高は前年比+2.9%と急加速し、8月の新車登録も同+9.6%と反発
- 8月の消費者マインドは-8.5%となって3カ月連続で小幅に悪化したが、85年以降の長期平均は上回っている

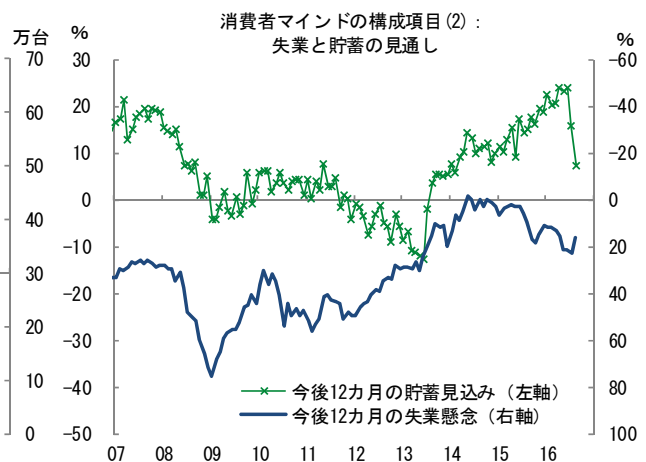
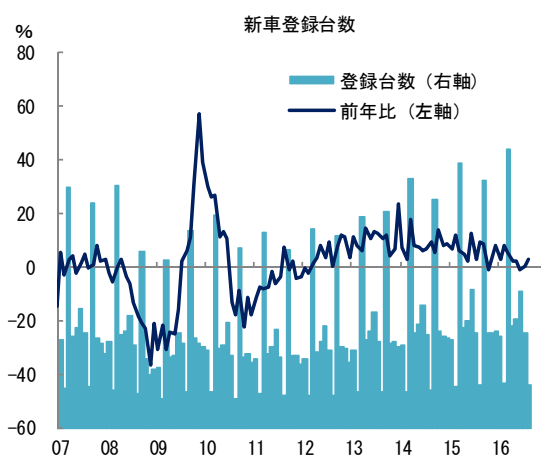
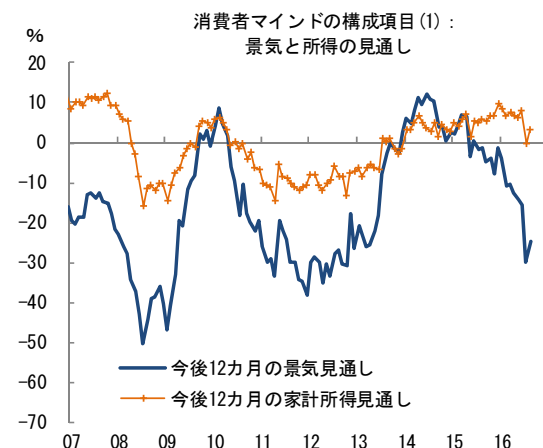
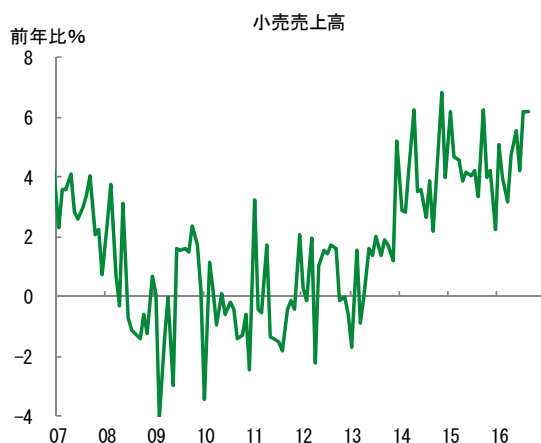
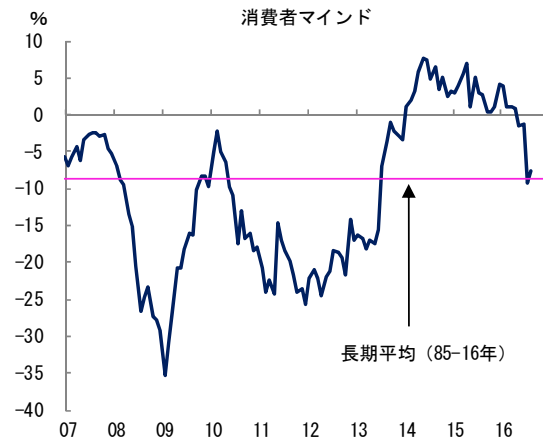
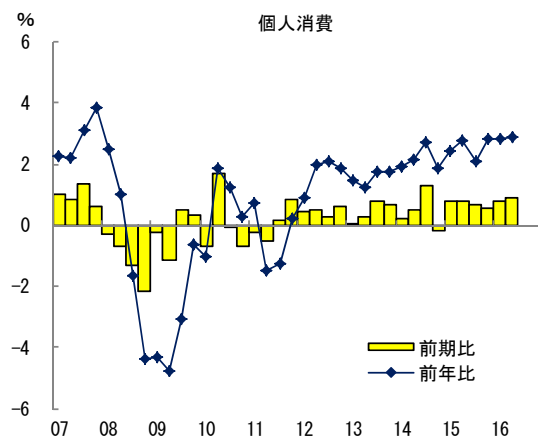


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 16年Q2の個人消費は前期比+0.9%に加速し、前年比では+2.9%と高い伸びを維持
- 8月の小売売上高は前年比+6.2%と好調
- 消費者マインドは英国のEU離脱決定を受けて6月の-1.2%から7月は-9.2%へ急落し、37カ月ぶりに85年以降の長期平均を下回ったあと、8月は-7.5%と小幅に改善

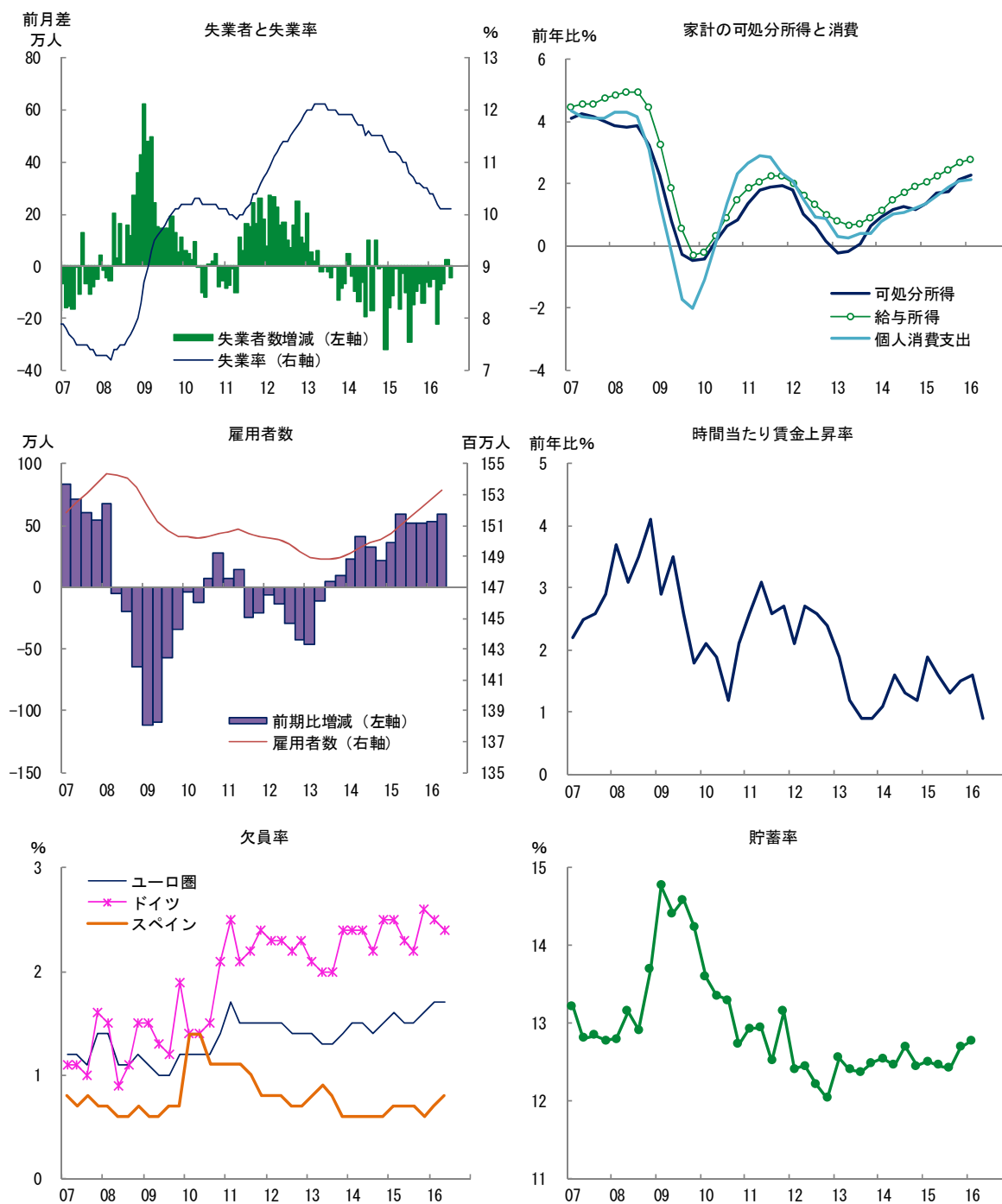


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 7月の失業率は10.1%で最近4カ月は横ばい
- 16年Q2の雇用者数は前期から59万人増加し1億5,327万人に
- 16年Q2の時間当たり賃金上昇率は前年比+0.9%に急減速し、10四半期ぶりに同1%台を割り込んでしまった

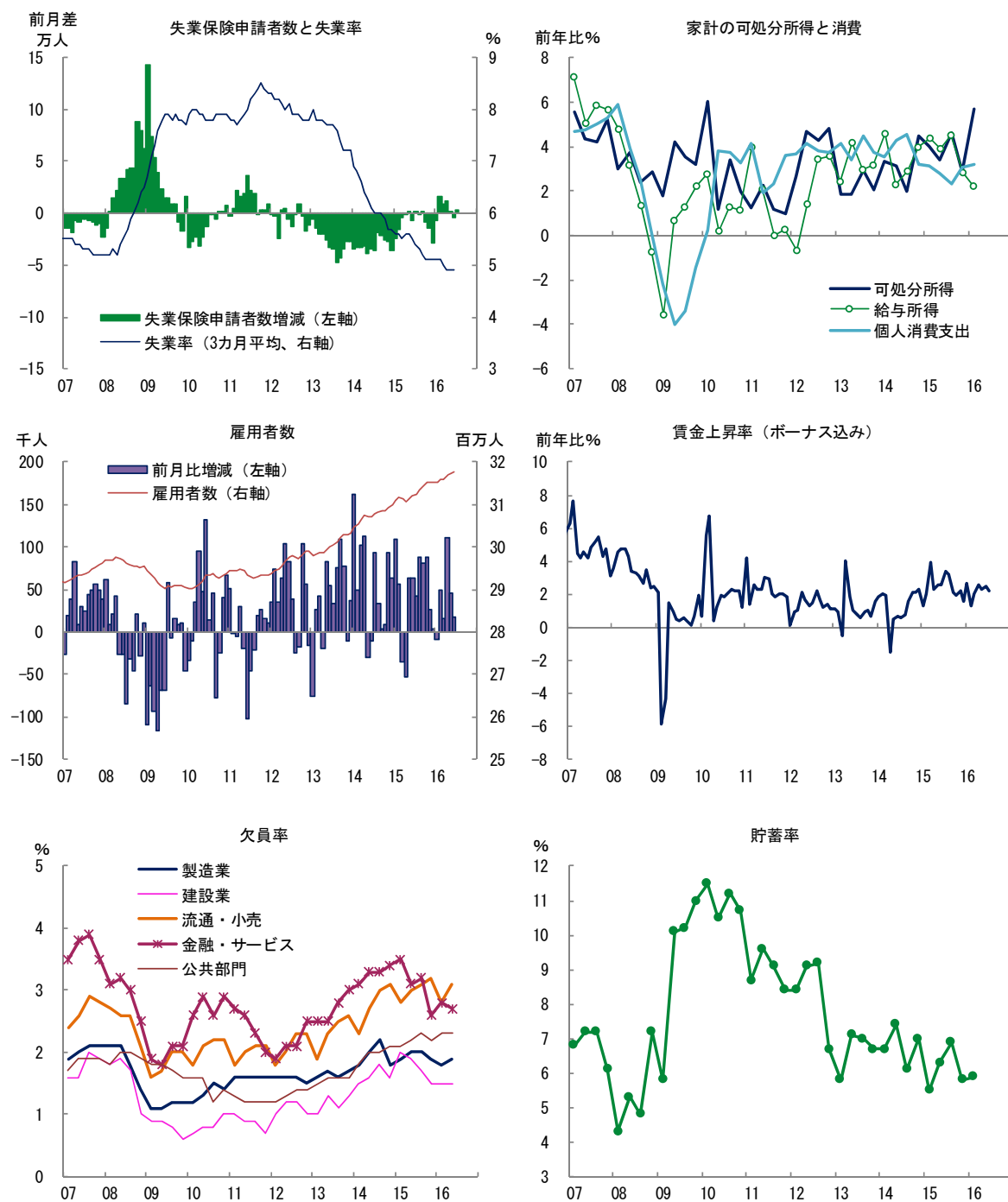


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 5-7月平均の失業率は4.9%でここ3カ月は横ばい
- 雇用者数は増加傾向にあるものの、7月の賃金上昇率は前年比+2.2%と小幅に減速
- 欠員率からは流通・小売業の雇用意欲が高い一方、金融・サービス業と建設業の雇用意欲が後退していることが読み取れる

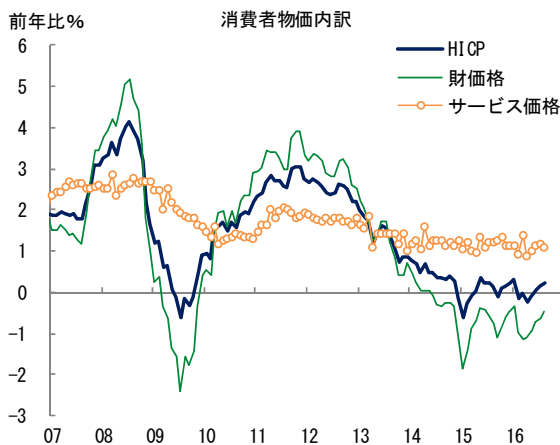
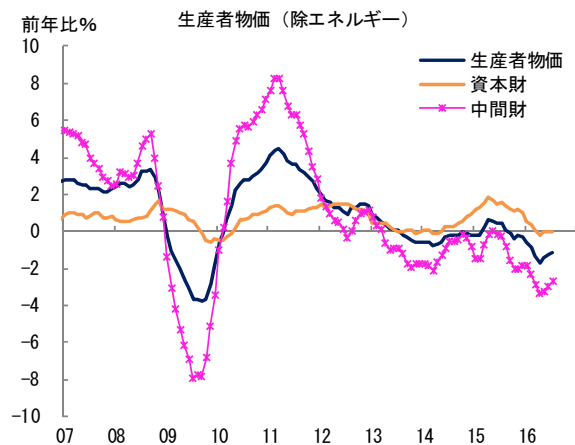
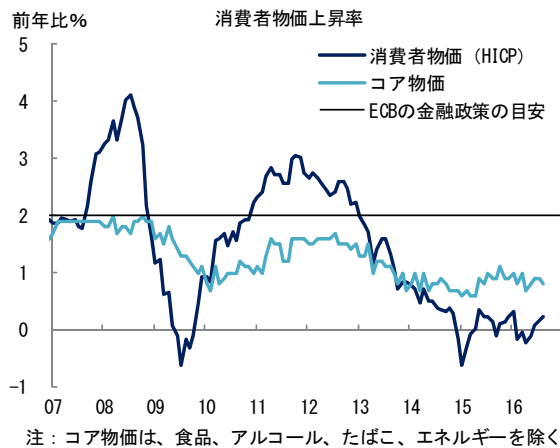


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

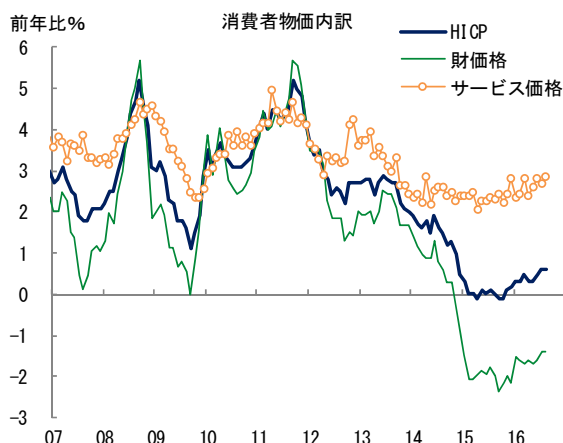
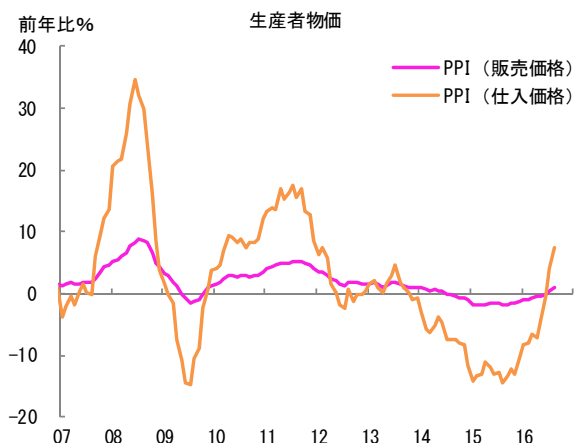
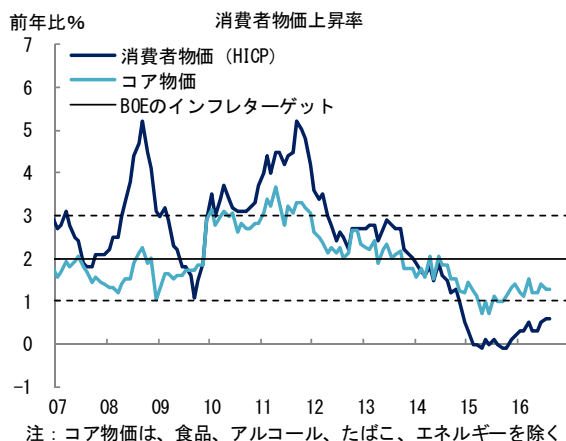
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.2%、コア物価は同+0.8%と低水準
- 財価格のマイナス幅縮小が続いているが、8月のサービス価格は前年比+1.1%へ小幅減速
- 8月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり45.7ドルとごく小幅の反発にとどまり、ユーロ圏の物価上昇圧力は引き続き弱い



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

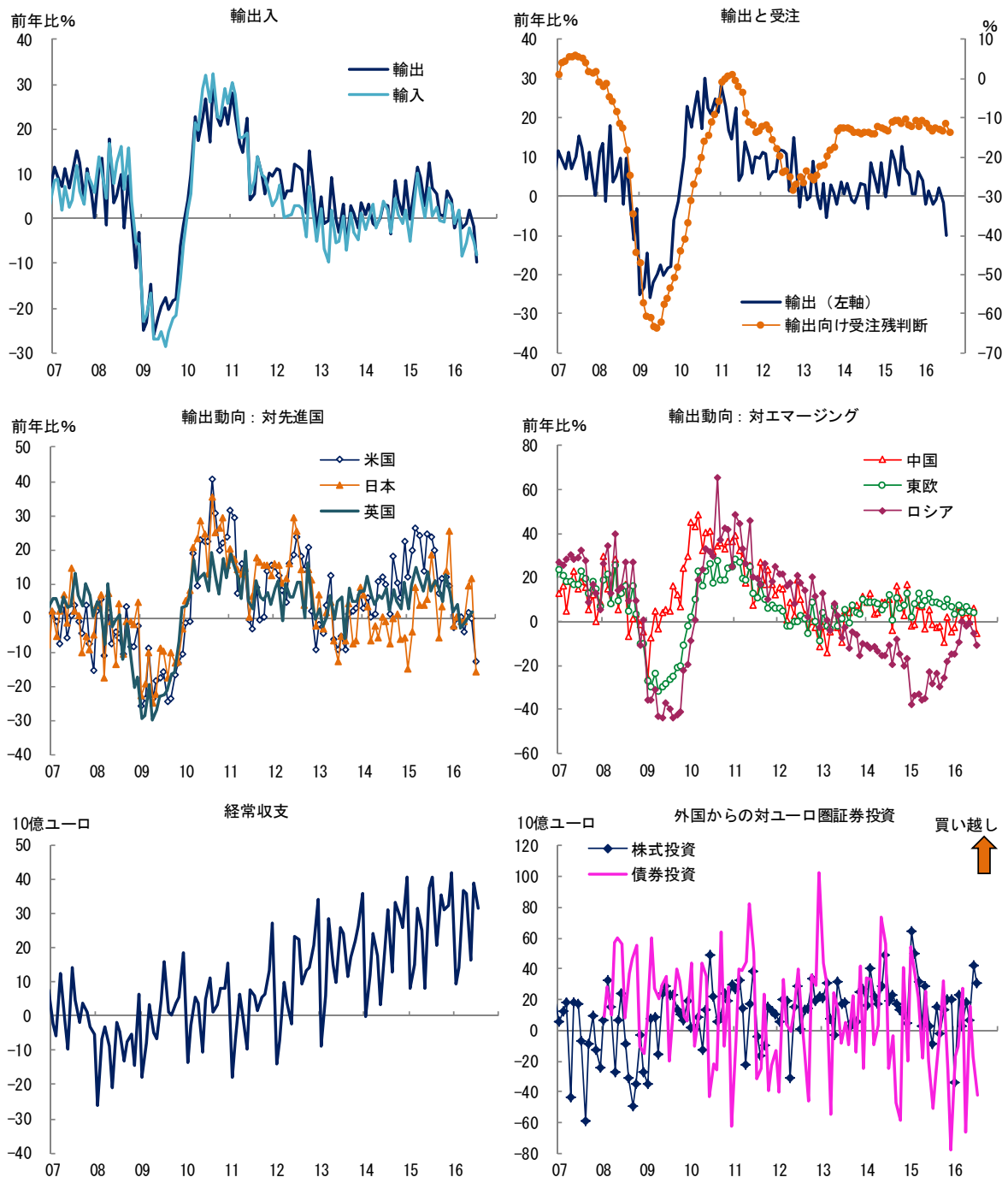
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.6%と7月から横ばい
- ポンド安による輸入物価上昇を背景に、生産者物価のうち仕入価格が8月は前年比+7.6%と急上昇し、販売価格も同+0.8%と小幅ながら加速した
- 英国のEU離脱決定後のポンド安にまだ歯止めがかかったとは言えず、8月のポンドの実効為替レートは10年3月以来の低水準まで下落



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

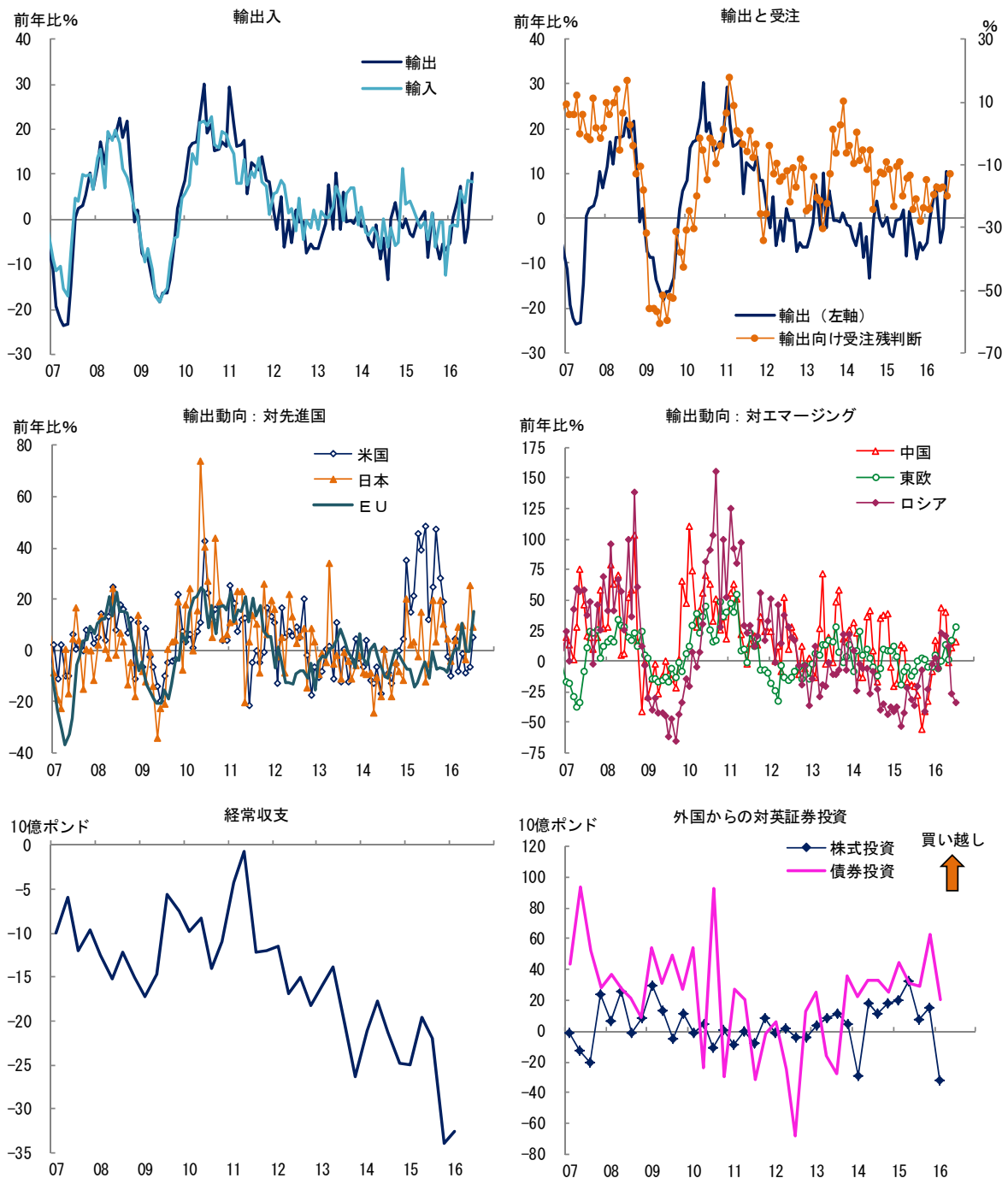
- 7月の輸出は前年比-9.8%、輸入は同-8.0%とそろって急落
- 7月の輸出を相手先別に見ると、米国向けが前年比-12.8%と大幅に下落したほか、中国向けも同-5.1%、ロシア向けも同-10.9%と落ち込んだ
- 7月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資は6カ月連続の買い越しとなった一方、債券投資の売り越し額が拡大した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 7月の輸出は前年比+10.3%、輸入は同+8.1%とそろって急拡大
- 7月の輸出を相手先別に見ると、先進国向けは4割強を占めるEU向けが前年比+15.3%と伸びたほか、米国向けは同+5.0%と4カ月ぶりに拡大に転じた
- 一方、エマージング諸国向けの輸出は中国向けが前年比+16.2%、東欧向けが同+27.9%と好調だが、ロシア向けは同-34.3%と大きく落ち込んだ



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成